

生活と健康と誇りを守る

8月26日から3日間の日程で開催される全国大会に提起される運動方針案が固まった。厳しい攻撃にどう立ち向かうのか、来期の方針案のポイントについて、編集部が阿部書記長に聞いた。



発行所 東京都千代田区霞ヶ関 財務ビル内(〒100-0013) 全国税労働組合 発行人 岡田 俊明 電話(03)3581-3678 FAX(03)3507-0886 振替口座 00140-2-68514

“税務の職場” 何でも110番 zenkokuzei@aol.com

全国税は、職場で起こった問題を解決するため「税務の職場、何でも110番」を常時設置しています(電話とFAXは上記の番号までどうぞ)。

全国税ホームページ http://www.kokko-net.org/zenkokuzei

公務員ハッシングに立ち向かう

ここ数年、公務員に冬の時代が続いています。給与制度見直し、拘束時間延長など歴史に記録されるような攻撃がかけられ、私たちの生活を襲いました。今後の公務員をめぐる情勢はどのようなものですか。

政府は給与制度見直しをやったばかりなのに、引き続き公務員の総人件費抑制を政治目標化しました。その中身は3点です。第一は定員削減。国税庁も新規採用を抑制されます。また、名指しで削減される他省庁から職員を省庁間配転で受け入れていくこととなります。

第二は、賃金の抑制。民間給与と比較企業規模を引下げ、昨年の本俸大幅引下げに続き、本俸はむしろ、賞与を大幅に引下げようという動きです。給与制度見直しでは「現給保障」を措置させました。その現給保障を引き下げようというのです。若年層はストレー

トに引下げとなります。第三は、年金と退職金の一括見直しです。公務員の年金が民間会社社員より高いというので、厚生年金との一元化が目標化されました。指示を受け、人事院はさつそく年金制度等の実態調査を開始しましたが、企業独自の上乘せ制度がある一方、退職金を年金化して支給する会社もあり、人事院は年金と退職金を一括で調査するとしています。

この結果、年金と退職金が一括で削減され、退職金は50万円ほど削減という観測もあります。ひどい内容の攻撃が続くということですね。どのように対抗していく

のでしょうか。人勤に向けて運動をすすめてきましたが、賃下げ勧告が出されたら、国公務連とともに「人勤実施反対署名」に取り組み、給与と法の改正に賃下げを

求めたいです。国民とともに、国民の中へを合言葉に、公務員ハッシングに反響する運動を展開します。小泉構造改革が格差社会と国民生活破壊をもたらしていること

もうひとつは「国民と自民・公明の政府与党と民主党が公務員攻撃を競っています。世論は公務員攻撃一辺倒から少しずつ流れが変りつつあります。国民への行政サービス拡充と行政の民主化を掲げて国民的な運動に参加し世論を変えること、国民も私たち公務員も安心して暮らせる社会をつくるために奮闘していきます。

労働の高密度化に立ち向かう

国税の職場をめぐる運動のポイントは何でしょうか。

国税職員だけではないのですが、拘束時間が延長され時短の歴史を逆回転されました。労働時間短縮はなんとしても実現させたい課題です。

具体的には計画していることがありませんか。特に内部事務一元化の試行は「人体実験」の様相を呈しており、確定期の「巡回指導」も同様です。年内に「合理化対策

会議」を開催し、実態の解明や要求を確立し、機構改革もらんだ運動の基盤作りを行い、運動の広がりをつくりたいと考えています。

生々しい情報や意見が集まるほど運動は深いものになります。ぜひ、いまから情報や意見を全国税に寄せていただくようお願いいたします。

「合理化対策会議」に向けた訴えがありましたが、これから1年の運動で、何かほかに職場の仲間へ伝えたいことがありますか。

私たちは中高年の処遇停滞、女性や青年に向けた差別づくりのための人事、行(職員)に対する処遇上のほったらかしを是正するよう運動してきま

した。非常勤職員の低賃金は正もかりです。政府や当局は、目標管理の人事評価やアウトソーシングで職場においても格差社会を生み出し、少ない賃金原資で競争させようとしています。処遇や差別は正の運動を強めますが、真にこれと対抗するには、働く者の団結と連帯です。これ

に尽きるというつもりです。仲間同士の競争ではなく、連帯して行動することが未来を築いていくのではないのでしょうか。

限られた紙面の都合で語り足りなかったと思いますが、これから1年間の運動方針のポイントがよくわかりました。要求実現のために、ともに頑張っていきたいと思います。

また、48歳で試行が行われる「内部事務の一元化」とそれに合わせるように全署的に行われる様々な試行は、仕事の高密度化をもたらします。職場をチエックし、職員の生の声を背景に粘り強く交渉し、労働強化を

反映させない運動を展開します。賃下げ勧告が出ないことを望みますが、出されたときは職員の大多数から署名を頂き、政府に圧力をかけていきますので、その時は積極的な協力をお願いします。

もうひとつは「国民と自民・公明の政府与党と民主党が公務員攻撃を競っています。世論は公務員攻撃一辺倒から少しずつ流れが変りつつあります。国民への行政サービス拡充と行政の民主化を掲げて国民的な運動に参加し世論を変えること、国民も私たち公務員も安心して暮らせる社会をつくるために奮闘していきます。

「合理化対策会議」に向けた訴えがありましたが、これから1年の運動で、何かほかに職場の仲間へ伝えたいことがありますか。

私たちは中高年の処遇停滞、女性や青年に向けた差別づくりのための人事、行(職員)に対する処遇上のほったらかしを是正するよう運動してきま

団結と連帯で立ち向かおう

「合理化対策会議」に向けた訴えがありましたが、これから1年の運動で、何かほかに職場の仲間へ伝えたいことがありますか。

私たちは中高年の処遇停滞、女性や青年に向けた差別づくりのための人事、行(職員)に対する処遇上のほったらかしを是正するよう運動してきま

した。非常勤職員の低賃金は正もかりです。政府や当局は、目標管理の人事評価やアウトソーシングで職場においても格差社会を生み出し、少ない賃金原資で競争させようとしています。処遇や差別は正の運動を強めますが、真にこれと対抗するには、働く者の団結と連帯です。これ

に尽きるというつもりです。仲間同士の競争ではなく、連帯して行動することが未来を築いていくのではないのでしょうか。

また、48歳で試行が行われる「内部事務の一元化」とそれに合わせるように全署的に行われる様々な試行は、仕事の高密度化をもたらします。職場をチエックし、職員の生の声を背景に粘り強く交渉し、労働強化を

反映させない運動を展開します。賃下げ勧告が出ないことを望みますが、出されたときは職員の大多数から署名を頂き、政府に圧力をかけていきますので、その時は積極的な協力をお願いします。

もうひとつは「国民と自民・公明の政府与党と民主党が公務員攻撃を競っています。世論は公務員攻撃一辺倒から少しずつ流れが変りつつあります。国民への行政サービス拡充と行政の民主化を掲げて国民的な運動に参加し世論を変えること、国民も私たち公務員も安心して暮らせる社会をつくるために奮闘していきます。

生々しい情報や意見が集まるほど運動は深いものになります。ぜひ、いまから情報や意見を全国税に寄せていただくようお願いいたします。



インタビューに答える阿部書記長

来年度運動方針案のポイント

また、48歳で試行が行われる「内部事務の一元化」とそれに合わせるように全署的に行われる様々な試行は、仕事の高密度化をもたらします。職場をチエックし、職員の生の声を背景に粘り強く交渉し、労働強化を

反映させない運動を展開します。賃下げ勧告が出ないことを望みますが、出されたときは職員の大多数から署名を頂き、政府に圧力をかけていきますので、その時は積極的な協力をお願いします。

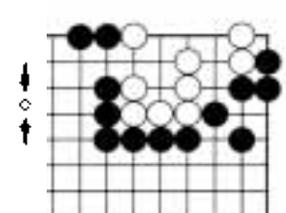
もうひとつは「国民と自民・公明の政府与党と民主党が公務員攻撃を競っています。世論は公務員攻撃一辺倒から少しずつ流れが変りつつあります。国民への行政サービス拡充と行政の民主化を掲げて国民的な運動に参加し世論を変えること、国民も私たち公務員も安心して暮らせる社会をつくるために奮闘していきます。

生々しい情報や意見が集まるほど運動は深いものになります。ぜひ、いまから情報や意見を全国税に寄せていただくようお願いいたします。

限られた紙面の都合で語り足りなかったと思いますが、これから1年間の運動方針のポイントがよくわかりました。要求実現のために、ともに頑張っていきたいと思います。

ズバリ、これが重視する要求

- * 全国税は、これ以上の賃下げを許さない。税務職、行(職)、非常勤を問わず賃上げを求めらる。
- * 全国税は、家庭と健康、アフター5を守るために週35時間労働を求めらる。
- * 全国税は、内部事務一元化による高密度労働、年齢・経験・専門性否定、無原則的なアウトソーシング拡大に反対し、職員一人ひとりにすべての税目について対応させる(多能工化)ことについては長期的計画を求めらる。
- * 全国税は、二度と死亡者や病人を出さない確実な要求を、ノルマ主義復活を許さない。
- * 全国税は、未払い超勤、ノルマ主義強化、セクハラ、パワハラなどをなくすため、職場に「つまずく要求を掘り起こし、仲間と共同して実現する。
- * 全国税は、正義に反する組合差別を是正し、中高年切り捨て、女性・青年・行(差別)の人事を撤廃させる。
- * 全国税は、憲法改悪・教育基本法改悪に反対し、格差社会拡大を許さない。



「五百万人も」の高齢者に数倍から数十倍にのぼる負担増が襲いかかった。ため、各自自治体の担当部局に苦情と抗議が殺到。定率減税全廃、各種控除縮小・廃止で08年時点の負担増はどのようになるか、連合や共産党のHP上でシミュレーションを公開している。年収・年齢・家族状況を入力すると「参考値」がでる。なんと13万円強!これに、給与所得控除縮小、人的控除廃止を柱とする「サラリーマン増税(等)を仮定した場合、さらに40万円超アップ!閉塞状態の収入に反比例し、負担増の大激痛が走る。小泉首相はトンだ置き土産をした。すでに次期自民党総裁・首相は安倍晋三官房長官に決定との声も高いが、安倍さんどうする、この置き土産。

詰碁

出題 九段 石樽郁郎

黒先

ヒント

一手目の急所からダメージにして仕留めます。(8分で二、三段以上)

「最終報告」で圧力 人勧、連続マイナスの危険

人事院が昨春秋に設置した「官民給与の比較方法の在り方研究会」(座長・神代和欣横浜国大名誉教授)は、7月21日、企業規模を50人以上まで引き下げて実施した民間給与の調査結果を、8月の人勧に反映させるよう求める最終報告書を公表した。

人事院は私たちの追及に対して、勧告への反映の疑問もあるが、こう

まともな反対意見 無視はヒドイ

人事院は、「官民給与の比較方法の在り方研究会」とは別に、「給与懇話会」を設置している。その第3回会議(3月14日)での委員の発言は次のとおり。

これらの発言をまるつきり無視とは、人事院とは何もの？

賃金を下げることと良い人材を探ることとは両立できない。比較企業規模の問題については必要な人材を公務に確保するためにどう考えるかという点が重要である。国民のために国の行政

時期をあいまいにしてきたことに人事院はまともに対応していない。明らかに仕組まれた世論や圧力に屈して、公務員の給与引き下げを目的化している。

この結果、新聞報道にも「国家公務員には厳しい勧告になる」とあるよ

国税関係手続のオンライン利用率の目標・件数

全体の目標	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
国税関係48手続	2%	3%	8%	22%	50%
上記の合計件数	58,000,000				
各年度の達成件数	1,100,000	1,670,000	4,560,000	12,460,000	28,590,000

特に重視し特別に目標設定する手続	目標
法人の消費税申告(税額4,800万円超の大規模法人)	平成20年度までの3年間で50%を目標とする。
給与の徴収高計算書の提出(支給人員50人以上の法人)	
印紙税申告(毎月申告の金融機関)	
酒税申告(毎月申告の酒類製造業者)	

ポスト昇任
退職9ヶ月前の
未発令者の推移

02.7	6
03.7	21
04.7	21
05.7	15
06.7	21

士気に水さす人事 切り捨てと局優遇

全国税東京地連が東京局の今年の人事発令結果を分析した。

定年を6級(ポスト昇任)で迎えるか、ヒラ上席のままかは、中高年職員が希望をもち、士気を維持できるかのバロメーターである。

右の表は定年直前の上席をポスト昇任させずに据え置いた数の推移。退職者の関係で昇任数は昨年より増えたのに、なんと未発令者も増えた。

右下の表は、ポスト昇任における局職員と署職員の発令数の対比である。

局員が前年より増加した21人は、定年直前の未発令者21人と一致する。局員優遇をやめれば、定年直前の職員全員をポスト昇任させることができたのだ。

中高年の労苦に報いる人事はできないのか。

局・署別のポスト昇任数の推移

	今年	昨年	増減
局	109	88	+21
署	164	164	±0
計	273	252	+21

e taxで尻叩き？ 無謀な目標設定

にわかにe taxの推進が至上命題になってきた。財務省が途方もない目標を掲げ、とりわけ国税関係の推進に焦点があたってきたからだ。

IT産業界の思惑もあり、政府が「世界一便利で効率的な電子行政」を鳴り物入りで推進することになった。それを受け

この国税関係の目標が上表である。

国税関係48手続は対象件数が5千8百万件で、現在のオンライン利用率は31万件、率にして0.5%である。これを今年度中に百十万件・2%とし、再来年には四百五十六万件・8%にもっていくとした。

利用しやすそうところにはさらに急がせると、国税関係中4項目は特別にあと3年間で50%の利用率まで引き上げるといってお達し。対象企業等にアンケートを実施し、未回答にも進めよと、早くも指示が飛んでいる。仕事が楽になるって？ それって甘くない??

全国税に加入しました

【関信地連】いじめやパワーハラメントのない明るい職場を作るために、このたび加入しました新潟県支部・長岡分会の高橋知己です。

全国の組合員の皆様から、あたたかいお祝いとお励ましをいただき、ただ感無量です。本当にありがとうございます。

「再任用職員の豊富な知識や経験を有効に活用できるよう」と長官は述べていますが、徴収での督促前納付指導や少額滞納を持たせて臨戸させるのが、有効活用になるのでしょうか。

前任の先輩は早く辞めると言わんばかりの、統官を先頭にしながら、統官に先頭を譲って陰湿なイジメに遭っていました。再任用職員

統括から7名が降格

【東京・江東東分会】統括官から上席へ7名が降格された。希望は1名のみで、残りは「仕事をしない」等の理由で半ば強制と噂されている。

6級から5級への降格でもあり、経済的な損失も大きい。

連調官から特官付上席も出ている。審理上席、総括上席4年のあと連調官だった。これも職務の厳しさの表れか。



新潟県支部の皆様だけでなく、多くの方々から加入を呼びかけられ、このたび晴れて皆様とともに歩むことを決断しましたが、まだ戸惑うことも、葛藤も多く抱えています。しかしそれが、皆様のご声援と時間によって、「加入して良かった」と思えるときが近いうちに来るであろうことを信じています。

一人として「プライドを持って安心して職務に従事できるよう」な環境づくりを望みます。

再任用職員の知識や経験を

【近畿・南大阪支部】今年三月末の定年退職者は53人、うち再任用者は17人でした。年々希望者は増加していますがが処遇面はどうでしょう。

谷口さんが昇任

【北陸地連】普25期の組合員、谷口勇さんのポスト昇任を強く求めてきました。が、ついに福井署特官への昇任を勝ち取りました。普25期は組合員以外でも1名昇任。

詰碁

解答 黒1のツケが急所。白2には黒3、5が好手順で白死です。白2で5なら黒3白4黒イで白死。黒3で先に5は白7で殺せません。

